令和 8 年 11 月 18 日

埼玉県感染症発生動向調査事業　　彩の国　埼玉県

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報　2026 年 第 46 週（11 月 9 日～11 月 15 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症		報告なし		
三類感染症	細菌性赤痢	1 人	類型	患者
			病原体	*S. sonnei*
			推定感染地域	インド
	腸管出血性大腸菌感染症	3 人	類型	患者　2 人、無症状病原体保有者　1 人
			血清型	O157　2 人、O145　1 人
四類感染症	レジオネラ症	3 人	病型	肺炎型　3 人
五類感染症	アメーバ赤痢	1 人	病型	腸管アメーバ症
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2 人	菌種	*Escherichia* sp.　1 人、*Klebsiella* sp.　1 人
	急性脳炎	4 人	病原体	インフルエンザウイルスA型　4 人
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人	血清群	B群
	後天性免疫不全症候群	1 人	病型	その他
	侵襲性肺炎球菌感染症	2 人		
	水痘（入院例）	1 人	病型	臨床診断例
	梅毒	13 人	病型	早期顕症Ⅰ期　2 人、早期顕症Ⅱ期　4 人、晩期顕症梅毒　1 人、無症状病原体保有者　6 人
	百日咳	6 人	年齢階級	0 歳　1 人、1-4 歳　2 人、10 歳代　1 人、20 歳代　1 人、60 歳代　1 人

〈定点把握疾患の患者情報〉

インフルエンザ（16.28*→15.10：**図 1-1～3**）の定点当たり報告数は、前週と同水準であり、依然としてやや多い状況にある。年齢階級別では 14 歳以下が全体の約 63%であった。基幹定点における**インフルエンザ（入院）**の報告数は 40 人（前週 27 人）で、前週と比較して増加した。基幹定点報告疾患の一つである**マイコプラズマ肺炎**（**図 2**）の報告数は 22 人（定点当たり報告数 1.83）であり、前週（27 人）を下回ったものの、依然として多い状況にある。**ＲＳウイルス感染症**（0.84→1.09：**図 3**）の定点当たり報告数は、第 42 週以降、減少傾向にあったものの、今週は前週の値を上回った。**新型コロナウイルス感染症**（1.33→1.24：**図 4**）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。基幹定点における**新型コロナウイルス感染症（入院）**の報告数は 8 人（前週 8 人）であった。**急性呼吸器感染症**（104.28→112.01：**図 5**）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。眼科定点報告疾患では、**流行性角結膜炎** 11 人の報告があった。その他の基幹定点報告疾患では、**細菌性髄膜炎** 1 人、**無菌性髄膜炎** 3 人の報告があった。

＊遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載

○全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構（JIHS）感染症情報提供サイト（URL：https://id-info.jihs.go.jp/）で御覧になれます。

埼玉県衛生研究所　感染症疫学情報担当
TEL:0493-59-9325　e-mail:p5349952@pref.saitama.lg.jp
URL: https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/

＜インフルエンザ流行情報＞

図 1-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

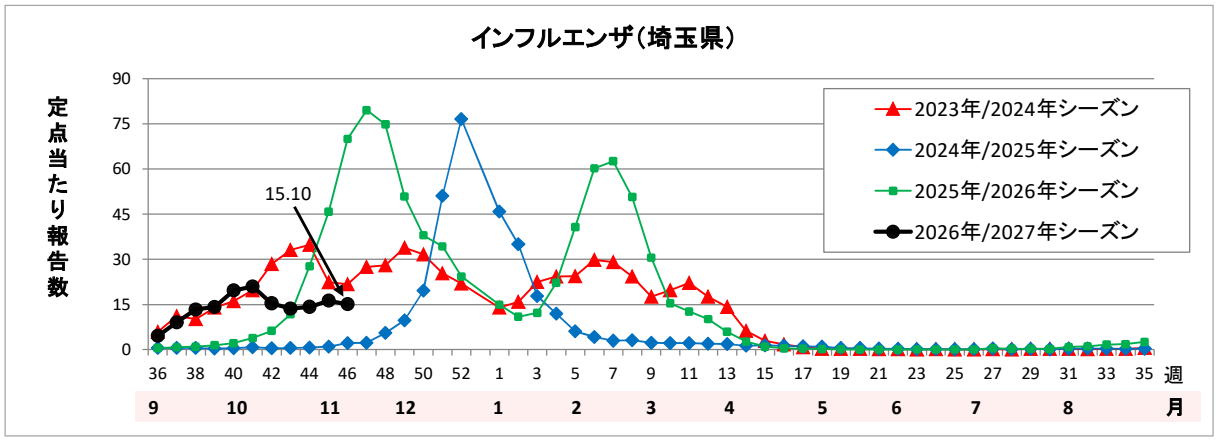
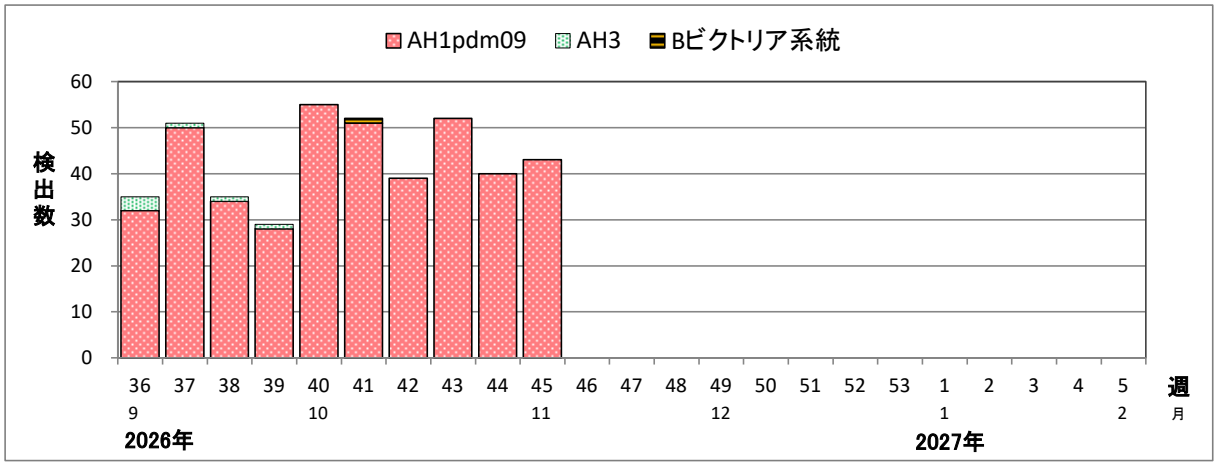
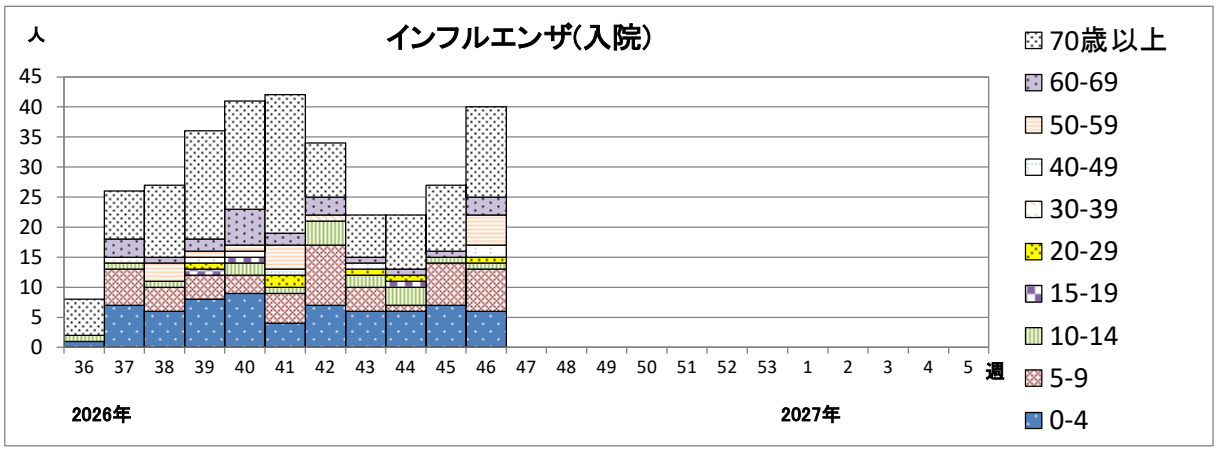


図 1-2 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2026 年第 43 週～第 45 週（2026 年 10 月 19 日～11 月 8 日）の 3 週間に採取された急性呼吸器感染症のうち、インフルエンザウイルスが検出され、その型別が終了した 135 検体は、すべて AH1pdm09 型でした。

図 1-3 インフルエンザ（入院）の年齢階級別報告数の推移



＜今週の注目される定点把握対象疾患の推移＞

図２　マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数の推移

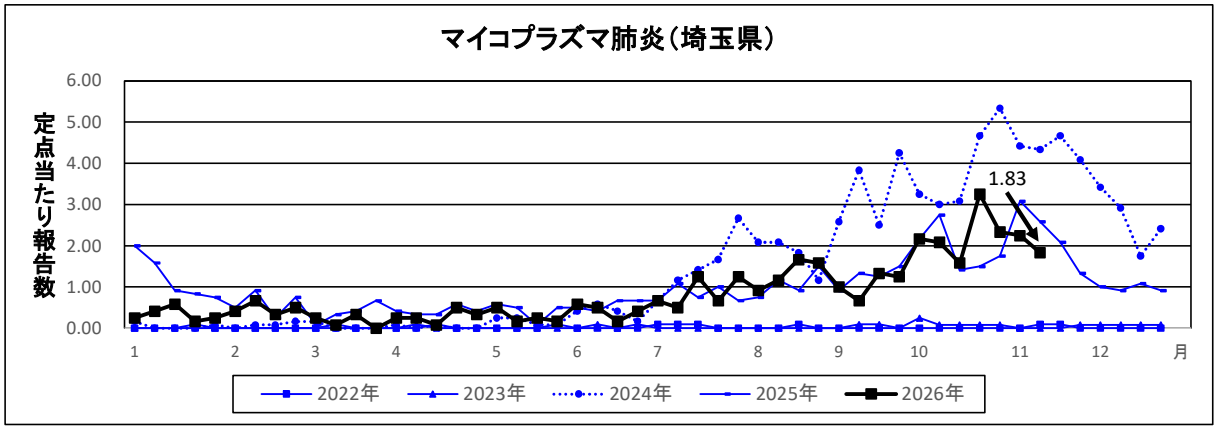


図３　ＲＳウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

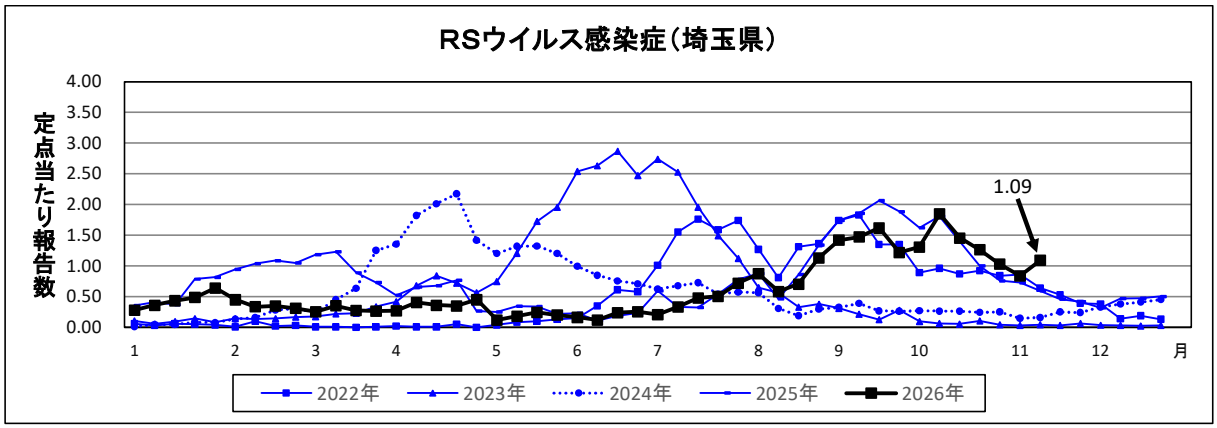


図４　新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

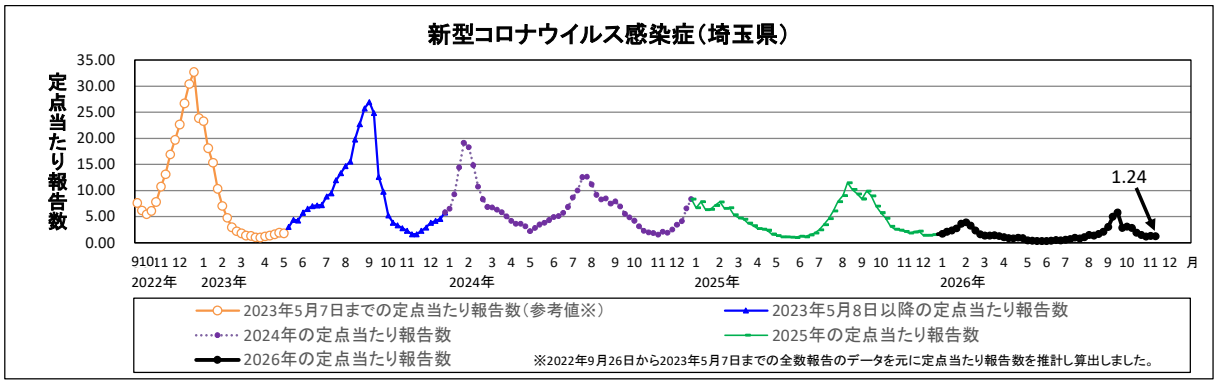
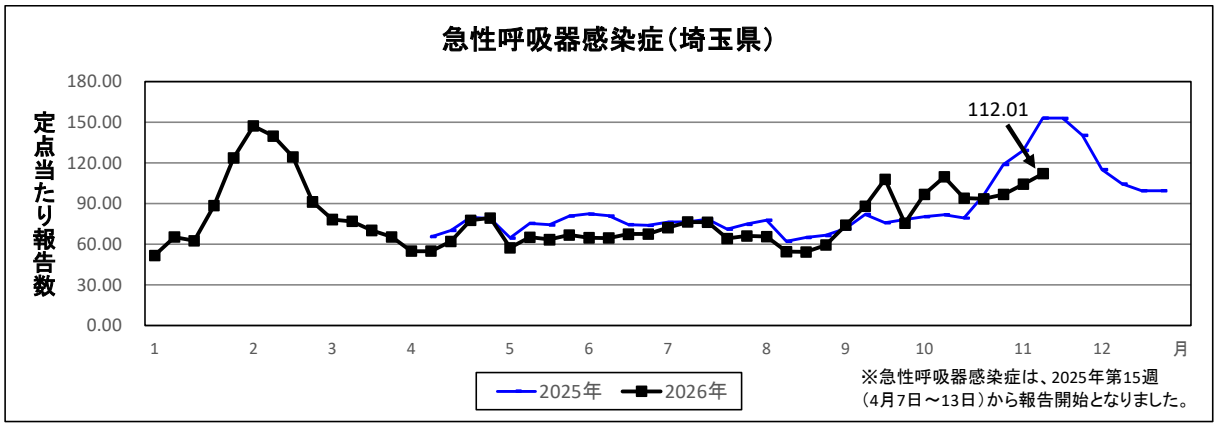


図５　急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



急性呼吸器感染症における病原体検出状況は以下のページに掲載しています。

https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第46週)

(2026年11月17日　15:00集計)

	今週届出	累計		今週届出	累計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核＊1	−	−	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		4
細菌性赤痢	1	3	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	3	163			
四類感染症					
E型肝炎		59	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		18	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	3	148
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		2	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	30	水痘(入院例に限る)	1	22
ｳｲﾙｽ性肝炎(E型・A型を除く)		15	先天性風しん症候群		
ｶﾙﾊﾞﾍﾟﾈﾑ耐性腸内細菌目細菌感染症	2	46	多剤耐性緑膿菌感染症		2
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		3	梅毒	13	442
急性脳炎	4	76	播種性クリプトコックス症		6
クリプトスポリジウム症			破傷風		5
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	ﾊﾞﾝｺﾏｲｼﾝ耐性黄色ﾌﾞﾄﾞｳ球菌感染症		
劇症型溶血性ﾚﾝｻ球菌感染症	1	48	ﾊﾞﾝｺﾏｲｼﾝ耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群	1	37	百日咳	6	404
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ菌感染症		34	麻しん		40
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
侵襲性肺炎球菌感染症	2	92			

累計は診断週で集計

＊1　結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況（2026年10月分）

2026年10月の届出総数は、患者42人、疑似症患者3人、無症状病原体保有者37人の計82人であった。前月と比べると患者数、無症状病原体保有者数はともに増加した。過去1年と比べると、患者数は同水準で無症状病原体保有者数は非常に多かった。推定感染地域は国内54人、国外5人、不明23人であった。

表1　診断月別の届出数の推移（2025年10月～2026年10月）

	2025年*				2026年										
	10月	11月	12月	累計**	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計***
総計	57	57	51	667	59	51	71	77	51	69	73	74	61	82	668
年齢階級															
10歳未満	0	1	0	14	1	0	0	1	0	0	0	2	1	0	5
10歳代	0	2	2	11	1	1	2	4	0	2	1	8	4	1	24
20歳代	12	9	5	87	9	8	14	18	6	14	19	17	13	7	125
30歳代	5	5	6	48	5	5	3	5	7	11	4	4	0	7	51
40歳代	5	6	1	53	3	5	5	4	5	3	3	3	8	5	44
50歳代	7	5	5	77	10	8	9	7	6	11	7	3	8	9	78
60歳代	2	4	3	61	5	0	4	5	3	6	5	5	3	8	44
70歳代	10	9	10	109	8	5	10	13	6	9	13	11	9	14	98
80歳代	14	12	13	143	14	15	19	15	14	7	14	18	13	19	148
90歳以上	2	4	6	64	3	4	5	5	4	6	7	3	2	12	51
性															
男	29	22	29	379	27	29	44	50	25	40	40	40	45	54	394
女	28	35	22	288	32	22	27	27	26	29	33	34	16	28	274
類型															
患者	37	41	35	439	37	33	46	42	37	42	47	43	34	42	403
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	0	2	1	1	1	1	1	0	1	0	0	3	9
無症状病原体保有者	20	16	16	226	21	17	24	34	13	27	25	31	27	37	256
病型															
肺結核	21	26	22	280	27	16	29	28	28	28	34	25	24	30	269
肺結核及びその他の結核	6	7	2	52	2	6	6	7	3	3	4	6	4	3	44
その他の結核	10	8	11	107	8	11	11	7	6	11	9	12	6	9	90
疑似症患者	0	0	0	2	1	1	1	1	1	0	1	0	0	3	9
無症状病原体保有者	20	16	16	226	21	17	24	34	13	27	25	31	27	37	256
推定感染地域															
国内	29	34	29	364	31	27	37	45	23	40	39	39	41	54	376
国外	7	8	9	73	10	6	14	13	9	12	14	11	8	5	102
不明	21	15	13	230	18	18	20	19	19	17	20	24	12	23	190

＊：2025年の届出数は暫定値
＊＊：2025年1月から12月までの累積届出数
＊＊＊：2026年1月からの累積届出数

10月に診断された82人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計30人の報告があり、70歳以上が19人で約63%であった。

表2　年齢階級別病型別の届出数（2026年10月分）

	病型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	30	3	9	3	37	82
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	0	0
10歳代	0	0	0	0	1	1
20歳代	2	0	2	0	3	7
30歳代	2	0	1	0	4	7
40歳代	3	0	0	0	2	5
50歳代	3	0	0	0	6	9
60歳代	1	1	0	0	6	8
70歳代	6	0	1	0	7	14
80歳代	6	2	3	2	6	19
90歳以上	7	0	2	1	2	12

感染症発生状況（定点把握対象疾患）　　報告患者数　　保健所別　（2026年第46週　　11月9日～11月15日）

保健所		インフルエンザ＃1	新型コロナウイルス感染症	急性呼吸器感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎＃2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎＃3	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	インフルエンザ（入院）	新型コロナウイルス感染症（入院）
全県	報告数	2,658	218	19,713	121	17	222	442	24	95	2	27	35	7	－	11	1	3	22	－	－	40	8
	定点当たり	15.10	1.24	112.01	1.09	0.15	2.00	3.98	0.22	0.86	0.02	0.24	0.32	0.06	－	0.26	0.08	0.25	1.83	－	－	3.33	0.67
朝霞	報告数	382	36	1,561	9	－	4	22	6	18	1	2	3	2	－	－	－	1	5	－	－	7	－
	定点当たり	23.88	2.25	97.56	0.90	－	0.40	2.20	0.60	1.80	0.10	0.20	0.30	0.20	－	－	－	1.00	5.00	－	－	7.00	－
鴻巣	報告数	372	19	3,173	8	－	22	30	1	5	－	－	2	1	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	31.00	1.58	264.42	1.14	－	3.14	4.29	0.14	0.71	－	－	0.29	0.14	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
東松山	報告数	82	－	551	－	－	4	29	－	2	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	定点当たり	20.50	－	137.75	－	－	1.33	9.67	－	0.67	－	－	0.33	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1.00
秩父	報告数	23	1	112	1	－	1	1	1	－	－	－	－	－	＊	＊	－	－	－	－	－	－	－
	定点当たり	5.75	0.25	28.00	0.33	－	0.33	0.33	0.33	－	－	－	－	－	＊	＊	－	－	－	－	－	－	－
本庄	報告数	28	5	233	－	－	2	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	2	－
	定点当たり	7.00	1.25	58.25	－	－	0.67	－	－	－	－	－	－	0.33	－	－	－	－	－	－	－	2.00	－
熊谷	報告数	81	7	829	10	3	6	13	1	6	－	1	3	－	－	2	－	－	－	－	－	3	－
	定点当たり	9.00	0.78	92.11	2.00	0.60	1.20	2.60	0.20	1.20	－	0.20	0.60	－	－	1.00	－	－	－	－	－	3.00	－
加須	報告数	47	10	135	5	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－	5	－
	定点当たり	9.40	2.00	27.00	1.67	－	0.33	－	－	－	－	－	0.33	－	－	1.00	－	－	－	－	－	5.00	－
春日部	報告数	101	7	1,145	10	2	15	27	3	5	－	3	1	－	－	1	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	16.83	1.17	190.83	3.33	0.67	5.00	9.00	1.00	1.67	－	1.00	0.33	－	－	1.00	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
幸手	報告数	282	24	1,403	14	2	19	9	－	3	－	－	5	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	31.33	2.67	155.89	2.80	0.40	3.80	1.80	－	0.60	－	－	1.00	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
坂戸	報告数	27	9	417	3	－	3	38	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	5	－	－	14	－
	定点当たり	6.75	2.25	104.25	1.00	－	1.00	12.67	－	－	－	－	－	0.33	－	－	－	－	5.00	－	－	14.00	－
草加	報告数	134	14	817	9	－	6	27	－	3	－	2	1	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	12.18	1.27	74.27	1.29	－	0.86	3.86	－	0.43	－	0.29	0.14	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
狭山	報告数	207	23	1,056	10	7	14	22	1	21	－	5	6	－	－	2	－	－	3	－	－	2	3
	定点当たり	15.92	1.77	81.23	1.00	0.70	1.40	2.20	0.10	2.10	－	0.50	0.60	－	－	0.40	－	－	3.00	－	－	2.00	3.00
南部	報告数	57	9	554	12	－	27	23	－	2	－	－	－	－	－	－	1	－	4	－	－	1	2
	定点当たり	11.40	1.80	110.80	4.00	－	9.00	7.67	－	0.67	－	－	－	－	－	－	1.00	－	4.00	－	－	1.00	2.00
川越市	報告数	114	11	1,088	3	1	11	7	1	24	1	2	2	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	12.67	1.22	120.89	0.60	0.20	2.20	1.40	0.20	4.80	0.20	0.40	0.40	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
越谷市	報告数	55	3	750	－	－	6	17	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－
	定点当たり	6.88	0.38	93.75	－	－	1.20	3.40	－	－	－	0.20	－	－	－	－	－	－	2.00	－	－	－	－
川口市	報告数	189	18	1,964	8	－	28	85	4	3	－	3	4	1	－	2	－	－	－	－	－	1	2
	定点当たり	13.50	1.29	140.29	1.00	－	3.50	10.63	0.50	0.38	－	0.38	0.50	0.13	－	0.50	－	－	－	－	－	1.00	2.00
さいたま市	報告数	477	22	3,925	19	2	53	92	6	3	－	8	6	1	－	3	－	2	3	－	－	5	－
	定点当たり	11.09	0.51	91.28	0.68	0.07	1.89	3.29	0.21	0.11	－	0.29	0.21	0.04	－	0.33	－	2.00	3.00	－	－	5.00	－

（ － ： 0.00 ）　　＃1 鳥インフルエンザを除く　　＃2 真菌性を含む　　＃3 オウム病を除く

11月　17 日　13:00 集計

感染症発生状況（定点把握対象疾患）　報告患者数　年齢別　（2026年第46週　11月9日～11月15日）

	合計	−6ヵ月	−12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10−14	15−19	20−29	30−39	40−49	50−59	60−69	70−79	80〜
インフルエンザ　#1	2,658	12	20	74	80	102	121	102	158	168	159	152	519	146	138	148	185	165	100	60	49
新型コロナウイルス感染症	218	1	3	14	10	11	7	3	6	8	7	4	18	15	15	17	16	16	22	11	14

	合計	0歳	1−4	5−9	10−14	15−19	20−29	30−39	40−49	50−59	60−69	70−79	80〜
急性呼吸器感染症	19,713	1,141	6,130	4,825	2,516	881	784	894	771	672	458	384	257

	合計	−6ヵ月	−12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10−14	15−19	20〜
RSウイルス感染症	121	8	26	43	19	10	6	−	3	2	2	−	2	−	−
咽頭結膜熱	17	−	1	6	2	2	3	1	−	1	−	1	−	−	−
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	222	−	−	3	10	21	22	28	26	18	19	16	24	14	21
感染性胃腸炎	442	9	23	54	51	30	41	35	36	26	20	24	59	10	24
水痘	24	−	−	−	2	2	2	1	1	−	3	5	8	−	−
手足口病	95	−	9	16	20	15	9	11	6	2	3	2	1	−	1
伝染性紅斑	2	−	−	−	−	−	1	−	−	−	1	−	−	−	−
突発性発しん	27	−	4	17	5	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−
ヘルパンギーナ	35	−	2	4	8	8	1	3	4	1	2	2	−	−	−
流行性耳下腺炎	7	−	−	−	−	−	−	1	2	1	1	1	1	−	−

	合計	−6ヵ月	−12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10−14	15−19	20−29	30−39	40−49	50−59	60−69	70〜
急性出血性結膜炎	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
流行性角結膜炎	11	−	−	−	1	1	−	−	−	−	1	−	−	−	1	1	2	2	2	−

	合計	0歳	1-4	5-9	10−14	15−19	20−24	25−29	30−34	35−39	40−44	45−49	50−54	55−59	60−64	65−69	70〜
細菌性髄膜炎　#2	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1
無菌性髄膜炎	3	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1
マイコプラズマ肺炎	22	−	6	5	7	−	1	−	1	−	1	−	−	−	−	−	1
クラミジア肺炎　#3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
インフルエンザ(入院)	40	1	5	7	1	−	−	1	−	−	2	−	2	3	1	2	15
新型コロナウイルス感染症（入院）	8	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	5

※ 表中の数値は各定点からの報告数（ − : 0 ）

#1　鳥インフルエンザを除く　　#2　真菌性を含む　　#3　オウム病を除く

全国・関東情報

第44週 (10月26日～11月1日)

令和8年11月18日

＜全国情報＞

急性呼吸器感染症定点報告疾患（報告定点数：3,724）：インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県（27.89）、北海道（21.90）、岩手県（17.17）である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は918例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳（29例）、1～9歳（234例）、10代（45例）、20代（10例）、30代（10例）、40代（13例）、50代（37例）、60代（78例）、70代（181例）、80歳以上（281例）であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第41週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は北海道（2.52）、岩手県（1.54）、青森県（1.31）である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は189例と前週と比較して減少した。都道府県別では43都道府県から報告があり、年齢群別では0歳（7例）、1～9歳（29例）、10代（1例）、20代（7例）、30代（4例）、40代（8例）、50代（3例）、60代（14例）、70代（38例）、80歳以上（78例）であった。急性呼吸器感染症（報告定点数：3,710）定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は埼玉県（96.73）、岩手県（96.49）、群馬県（95.09）である。

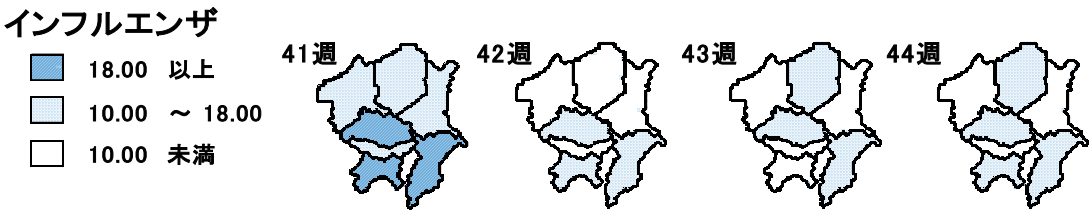
小児科定点報告疾患（主なもの）（報告定点数：2,248）：RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期（前週、当該週、後週）の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は島根県（4.82）、宮崎県（3.86）、山口県（3.29）である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県（0.67）、京都府（0.62）、鹿児島県（0.61）である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県（5.14）、北海道（3.38）、新潟県（3.10）である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は島根県（6.09）、群馬県（5.92）、大分県（5.69）である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は島根県（0.55）、京都府（0.46）である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県（4.88）、石川県（4.18）、長野県（1.36）である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は徳島県（0.24）、宮崎県（0.14）、新潟県（0.13）である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は富山県（2.07）、静岡県（1.74）、福井県（1.44）、岐阜県（1.44）である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は茨城県（0.19）、富山県（0.10）である。

基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は埼玉県（2.33）、群馬県（2.11）、福島県（1.86）である。感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）の定点当たり報告数は2週連続で減少し、今週の報告はなかった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年 第44週（10月26日～11月1日）：通巻第28巻 第44号

＜関東情報＞

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県（14.22）、千葉県（11.49）、神奈川県（10.92）、栃木県（10.45）で全国平均（10.26）を上回った。



2026年 44週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ ＃1	報告数	38,205	11,544	586	491	421	2,503	2,046	2,888	2,609
	定点当たり	10.26	9.87	8.75	10.45	9.36	14.22	11.49	6.91	10.92
新型コロナウイルス感染症	報告数	2,994	1,164	53	48	33	214	198	310	308
	定点当たり	0.80	0.99	0.79	1.02	0.73	1.22	1.11	0.74	1.29
急性呼吸器感染症	報告数	226,306	82,205	4,561	3,569	4,184	17,025	12,033	23,071	17,762
	定点当たり	61.00	70.44	68.07	75.94	95.09	96.73	67.22	55.19	75.26
RSウイルス感染症	報告数	2,784	717	40	47	61	114	66	244	145
	定点当たり	1.24	1.01	1.08	1.74	2.44	1.03	0.61	0.93	1.04
咽頭結膜熱	報告数	452	96	1	–	6	29	13	33	14
	定点当たり	0.20	0.14	0.03	–	0.24	0.26	0.12	0.13	0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	3,159	862	98	61	43	205	117	224	114
	定点当たり	1.41	1.21	2.65	2.26	1.72	1.85	1.08	0.85	0.81
感染性胃腸炎	報告数	7,306	2,457	146	52	148	389	275	969	478
	定点当たり	3.25	3.46	3.95	1.93	5.92	3.50	2.55	3.68	3.41
水痘	報告数	431	148	9	3	4	28	16	51	37
	定点当たり	0.19	0.21	0.24	0.11	0.16	0.25	0.15	0.19	0.26
手足口病	報告数	1,310	432	15	8	4	80	122	137	66
	定点当たり	0.58	0.61	0.41	0.30	0.16	0.72	1.13	0.52	0.47
伝染性紅斑	報告数	47	12	1	–	1	2	1	4	3
	定点当たり	0.02	0.02	0.03	–	0.04	0.02	0.01	0.02	0.02
突発性発しん	報告数	579	176	4	8	13	22	17	63	49
	定点当たり	0.26	0.25	0.11	0.30	0.52	0.20	0.16	0.24	0.35
ヘルパンギーナ	報告数	1,537	516	31	30	30	108	77	154	86
	定点当たり	0.68	0.73	0.84	1.11	1.20	0.97	0.71	0.59	0.61
流行性耳下腺炎	報告数	67	22	7	2	–	2	2	1	8
	定点当たり	0.03	0.03	0.19	0.07	–	0.02	0.02	0.00	0.06
急性出血性結膜炎	報告数	8	3	–	–	–	3	–	–	–
	定点当たり	0.01	0.01	–	–	–	0.07	–	–	–
流行性角結膜炎	報告数	343	85	13	2	2	13	7	13	35
	定点当たり	0.50	0.42	0.76	0.17	0.20	0.31	0.21	0.34	0.73
細菌性髄膜炎 ＃2	報告数	9	1	–	–	–	–	–	1	–
	定点当たり	0.02	0.01	–	–	–	–	–	0.04	–
無菌性髄膜炎	報告数	23	5	–	–	–	–	–	3	2
	定点当たり	0.05	0.06	–	–	–	–	–	0.12	0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数	270	87	10	2	19	28	9	11	8
	定点当たり	0.56	1.00	0.77	0.29	2.11	2.33	1.00	0.44	0.67
クラミジア肺炎 ＃3	報告数	4	1	–	–	–	–	–	1	–
	定点当たり	0.01	0.01	–	–	–	–	–	0.04	–
感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	報告数	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	定点当たり	–	–	–	–	–	–	–	–	–

＃1 鳥インフルエンザを除く　＃2 真菌性を含む　＃3 オウム病を除く　(–:0.00)

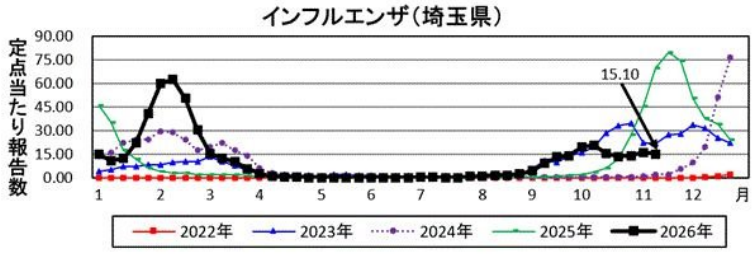
感染症発生動向調査 2026年
- 感染症の流行状況 2026年 第1週
- 感染症の流行状況 2026年 第2週
- 感染症の流行状況 2026年 第3週
- 感染症の流行状況 2026年 第4週
- 感染症の流行状況 2026年 第5週
- 感染症の流行状況 2026年 第6週
- 感染症の流行状況 2026年 第7週
- 感染症の流行状況 2026年 第8週
- 感染症の流行状況 2026年 第9週
- 感染症の流行状況 2026年 第10週
- 感染症の流行状況 2026年 第11週
- 感染症の流行状況 2026年 第12週
- 感染症の流行状況 2026年 第13週
- 感染症の流行状況 2026年 第14週
- 感染症の流行状況 2026年 第15週
- 感染症の流行状況 2026年 第16週
- 感染症の流行状況 2026年 第17週
- 感染症の流行状況 2026年 第18週
- 感染症の流行状況 2026年 第19週
- 感染症の流行状況 2026年 第20週
- 感染症の流行状況 2026年 第21週
- 感染症の流行状況 2026年 第22週
- 感染症の流行状況 2026年 第23週

感染症の流行状況 2026年 第46週

2026年第46週（11月9日～11月15日）の要点

定点把握対象疾患（インフルエンザ）

定点当たり報告数は、前週と同水準であり、依然としてやや多い状況にあります。



感染予防のため、咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	→	ー	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
急性呼吸器感染症	↑	ー	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	↑	★★	ヘルパンギーナ	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	↑	★	流行性角結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が変更となりました。
疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。
この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。
また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「感染症情報提供サイト」でご覧になれます。

